

パーパス経営の原点を探る

パーパスとは企業の存在意義を意味します。「なぜ社会に存在しているのか」、「社会に対してどのような価値を提供したいのか」という企業の思いが込められた概念です。かつて住友財閥の伊庭貞剛と鈴木馬左也は、「私利利他公私一如」や「以德招利」というパーパスを掲げて社会からの共感と信頼を獲得し、持続的成長の基盤を築きました。

国内外の企業の中にはパーパスを起点にビジネスを通じて社会課題の解決に挑むことで、消費者からの共感を獲得しようという動きがみられます。この背景には企業の姿勢や製品・サービスに込められたサステナブルストーリーを重視する、ミレニアル世代やZ世代の存在が大きく影響しています。パーパスは消費者とのコミュニケーションの要であり、企業ブランドを再構築する上で欠かせない要素といえましょう。

本講座ではパーパス経営の先駆者といえる企業家を取り上げ、パーパスの背景にある企業家の思いやパーパスを起点とした事業展開の実像に迫ります。講師はイノベーション・マネジメント研究センターの研究プロジェクト「企業家史研究会」のメンバーが担当します。

配信方法 **YouTube Live** (参加費無料)

【第1部】 2021年10月23日(土)

- 13:30~14:30 **製薬企業の礎を築く:塩野義三郎(二代)(シオノギ製薬)**
安土 昌一郎 (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員)
- 14:40~15:40 **科学技術は未来を創る:島津源蔵(二代)(島津製作所)**
長谷川 直哉 (法政大学人間環境学部教授(「企業家史研究会」代表))

【第2部】 2021年11月13日(土)

- 13:30~14:30 **至誠と慈悲の貿易商人:安宅彌吉(安宅産業)**
島津 淳子 (社史ライター)
- 14:40~15:40 **小型モーター革命と標準化戦略:馬淵健一・隆一(マブチモーター)**
片山 郁夫 (SOMPOビジネスサービス株式会社監査役、
法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員)

【第3部】 2021年12月11日(土)

- 13:30~14:30 **人間尊重の経営を実践した専門経営者:武藤山治(鐘淵紡績)**
岡 靖弘 (法政大学イノベーション・マネジメント研究センター客員研究員)
- 14:40~15:40 **商売は菩薩の業:伊藤忠兵衛(伊藤忠商事・丸紅)**
長谷川 直哉

対象 学生、一般社会人、企業経営者に関心のある方、企業広報・社史の担当者

申込方法 下記専用サイトよりお申し込みください。
お申し込みされた方には、配信リンク先をご連絡いたします。

<https://www.event-u.jp/fm/10968>



申込期限 【第1部】 10月22日(金) 【第2部】 11月12日(金) 【第3部】 12月10日(金)

【お問い合わせ】



法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL:03-3264-9420 / E-mail: cbir@adm.hosei.ac.jp / URL: <https://riim.ws.hosei.ac.jp>